

# 段階的な地域フォーミュラリの推進と薬剤師の役割

○ 木下雅文<sup>1</sup>、熊崎進<sup>2</sup>、長友絵梨佳<sup>3</sup> 1. 一般社団法人 飯田下伊那薬剤師会 2. 同 会員薬局 3. 同 会員やまなみ薬局

## ■ 背景

飯田市と下伊那郡の1市3町10村で構成される南信州広域連合の地域（以下、当該地域）では、患者への効率的な地域医療の提供を目的に段階的に地域フォーミュラリの検討を推進している。しかし、当該地域でも、医薬品供給問題が顕在化しており、地域フォーミュラリ推進に向けて飯田下伊那薬剤師会（以下、当会）会員薬局の積極的な参加協力が難しい状況になっている。そこで、当会会員薬局が参加協力しやすい形の地域フォーミュラリの検討を実施し、当該地域における地域フォーミュラリの一環として、医薬品の安定確保を目的とした使用医薬品銘柄の標準化（以下、本取組）を開始した。

## ■ 目的

当会では、地域フォーミュラリを活用して当該地域における医薬品安定確保を目的に本取組を実施した。また、本取組に未参加の当会会員薬局が自動的に参加しやすくなるように、当該地域での使用量を安定的に供給可能な医薬品銘柄の検討・調整や資料の準備・提供を行い、地域全体の使用医薬品銘柄を標準化した。

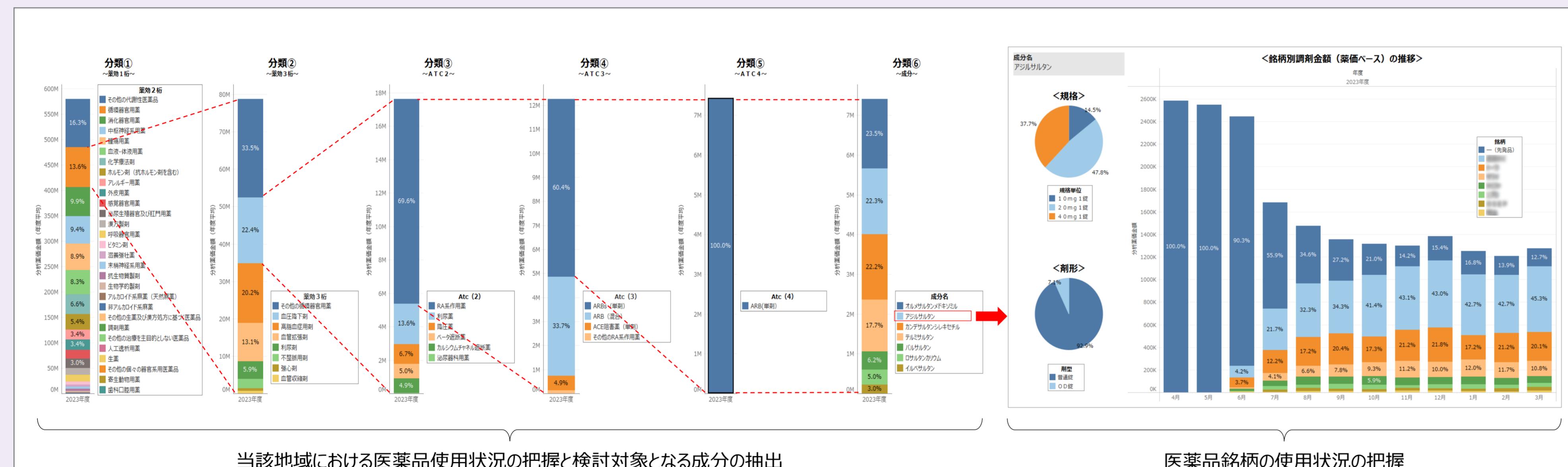
## ■ 結果

### ① 推奨される医薬品銘柄の検討

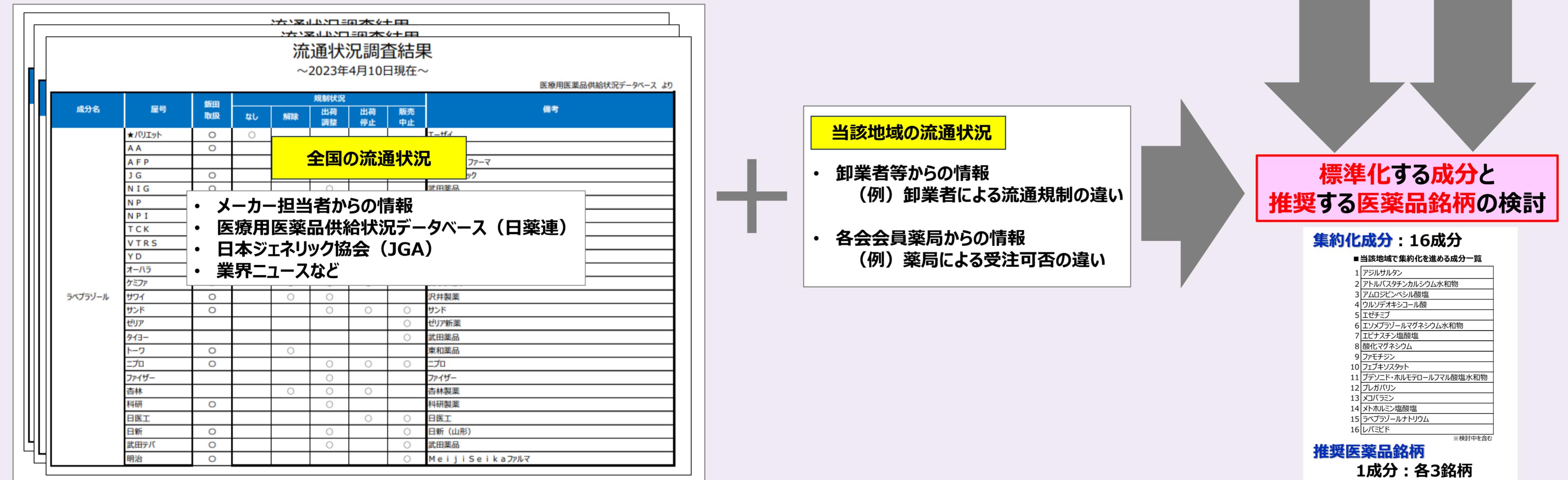
■ 当会会員薬局のism-Link/ID-Link連携の参加状況 ※2024年6月末現在

当該地域全65薬局中61薬局が参加（参加率93.8%）

■ 当該地域の医薬品使用状況の把握と分析



■ 使用医薬品銘柄の流通状況調査



### ■ 使用銘柄の標準化状況（ラベプラゾール標準化開始約1年の調剤実績）

